

「広島県学びの基盤に関する調査」実施要領

「広島県学びの基盤に関する調査」の実施について

(1) 調査の趣旨

教科学力の基盤となると考えられる「言葉、語彙」、「数、形、量」、「思考力、推論力」等に関する調査（「広島県学びの基盤に関する調査」）を行い、一般の学力調査では見取れない児童のつまずきを把握し、当該児童の支援に生かします。

調査問題は、いわゆる教科学力を測る調査ではありません。あくまで、その児童の学びの基盤にどのような特徴があるかを把握し、支援の在り方について各学校が検討する際の参考としていただくための調査です。

そのため、問題の意味や解答の仕方が分からない児童がいた場合には、正答のヒントとならない程度に【れい】を使うなどして、問題の意味や解答の仕方を伝えていただいても構いません。

(2) 実施対象

第2学年の児童

第2学年の児童を調査対象としておりますが、その他の学年の支援対象児童等に調査を行い、実態把握に活用することもできるよう開発しております。

(3) 実施内容

ア 調査内容

(ア) 「ことばのたつじん」（「その1」から「その3」計3冊）

（主として「言葉、語彙」等に関する調査）

(イ) 「かずとかたち・かんがえるたつじん」（「その1」から「その3」計3冊）

（主として「数、形、量」、「思考力、推論力」等に関する調査）

イ 標準実施時間

(ア) 「ことばのたつじん」 3冊合わせて、約30分

(イ) 「かずとかたち・かんがえるたつじん」 3冊合わせて、約30分

ウ 調査の実施にあたって

(ア) 「ことばのたつじん」、「かずとかたち・かんがえるたつじん」は「その1」から「その3」の3つの分冊からなり、3冊で30分の標準実施時間としています。ただし、標準実施時間は目安であり、その時間で調査を終了することを示すものではありません。児童の解答状況を確認しながら、可能な限り、全ての問題に取り組めるように時間を調整して実施してください。

(イ) 調査については、学校の状況等に応じて、問題冊子を複数回に分けて実施して差し支えありません（例：帯タイムや放課後等の時間を使って複数回に分けて行う、何日かに渡り行う等）。

(ウ) 調査問題は、教科学力を問う目的ではありません。小数・分数につながる内容など、小学校第2学年の段階では学習していないものも設定しておりますが、そのまま解答させてください。分からない場合は、「？」に○を付けさせてください。